

令和2年度  
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業  文部科学省

新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフの育成、  
並びに次世代の観客育成に向けた調査

報告書

## ごあいさつ

日本バレエ団連盟は、昨年9月で法人設立から6年が経過いたしました。日本においてダンサーやスタッフが心置きなく創造活動に専心できる環境の実現を目指し、新進芸術家の育成事業やバレエ芸術の普及活動等、日本バレエ界の発展のために欠かすことのできない重要な課題に日々取り組んでまいりましたが、令和2年度（2020年度）は、新型コロナウイルスの影響により日本バレエ界を取り巻く環境は一層厳しいものとなりました。

この文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」では、平成27年度（2015年度）より、海外優秀指導者による新進バレエダンサーへのマスタークラス開催と、バレエ団運営における基盤整備に向けた調査・研修を2つの大きな軸とし、ダンサーと制作運営の両面からの人材育成を継続して行っております。

これまでの本事業による海外事例の調査結果等をうけて、「次世代の観客育成」が今後の日本バレエ界の発展を考える上で重要な課題であるという共通認識を持っています。そこで、本年度は、事業の軸にこのテーマを加え、次世代の観客となる子供たちを対象としたバレエ鑑賞体験による影響の調査等を行いました。

新進バレエダンサーの育成としては、世界的に活躍されているヒューストン・バレエ団プリンシパルの加治屋百合子氏を招へいし、マスタークラスと公開レッスンを実施いたしました。公開レッスンは、バレエ団の枠組みを超えて日本バレエ団連盟の会員団体のダンサーが参加する形をとり、このコロナ禍におけるダンサー育成環境整備の一助とすべく、その様子を期間限定で無料配信いたしました。

新型コロナウイルスの影響により苦境に立たされているバレエ団の状況についてご理解を賜り、この状況下で取り組みを進める必要があるバレエダンサー・運営スタッフの育成方策についてご理解とご協力いただきました皆さまに、心より御礼申し上げます。

日本のバレエ界全体の芸術水準向上とさらなる発展に向け、引き続き、尽力させていただく所存です。今後とも、関係各位の一層のお力添え、ご指導を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

2021年3月

一般社団法人 日本バレエ団連盟

---

# 目次

---

## ● ごあいさつ

## ● 事業概要

### 1章 マスタークラス・公開レッスン実施報告

1-1 概要……5

1-2 加治屋百合子氏によるマスタークラス・公開レッスン……5

### 2章 次世代の観客育成に向けた調査

2-1 概要……13

2-2 子どもたちのバレエ鑑賞体験による影響に関する調査……13

2-3 公演実施状況に関するデータ整備……30

### 3章 コロナ禍におけるバレエ団運営スタッフ・ダンサーの育成

3-1 海外バレエ団の新型コロナウイルス対応状況に関するレポート発行……57

3-2 バレエ団運営スタッフ向けファンドレイジングセミナー……78

3-3 ダンサーのコンディショニングセミナー  
～コロナ禍における怪我の事例を踏まえて～……80

付録 海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者（2020/2021シーズン現在）……85

# 令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

---

## 事業概要

### 1. 事業名

新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフの育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査

### 2. 事業の趣旨・目的

習い事文化が広く根付いている我が国において、バレエは人気の習い事であり、その広い裾野から優秀なダンサーが育ち、国際的に活躍している。一方で、その背景に、日本ではバレエ団の公演活動のみで生計を立てることが難しいことから、多くの優秀なバレエダンサーが海外に活躍の場を求めている現状があり、日本のバレエ団の運営基盤整備が求められている。

本事業は、新進バレエダンサーの育成と、バレエ団運営に携わるマネジメント人材の育成、そして、次世代の観客育成を3つの柱とし、ダンサー・運営スタッフ・観客という3つの側面から、舞台芸術を支える人材の育成を行うものである。

新進バレエダンサーに対しては、プロフェッショナルとして活動を行うにあたって必要な技術と能力の育成を図るために、優秀指導者によるマスタークラスを実施するとともに、公開レッスンとしてクラスの様子を将来プロを目指す若手ダンサーやバレエ指導者等に対して公開することで、ダンサー育成環境整備の一助とする。また、ダンサーたちが怪我をすることなくその能力を十分に伸ばしていくことができるよう、ダンサーたち自らが身体のコンディショニングについて知識を深めるためのセミナーを実施する。

バレエ団運営スタッフに対しては、バレエ団がコロナ禍を乗り越えるための方策を検討するにあたって参考となる海外事例について情報共有を図る。また、国内におけるファンドレイジングについて、コロナ禍での知見を踏まえたセミナーを実施する。

そして、次世代の観客育成のための取り組みとしては、次世代の観客となる子どもたちのバレエ鑑賞体験による影響に関する調査および、大人も含めた次世代の観客拡大に向けた方策検討のための基礎データとして、バレエ団の公演実施状況のデータ整備を行う。

プロのバレエ団を統括する当連盟としては、本事業を実施することにより、日本バレエ界全体の芸術水準向上とさらなる発展に寄与することを目的とする。

### 3. 事業の内容

#### (1) マスタークラス・公開レッスンの実施

指導：ヒューストン・バレエ団プリンシパル 加治屋百合子

マスタークラス指導対象：井上バレエ団、東京シティ・バレエ団（実施順）

公開レッスン指導対象：井上バレエ団、小林紀子バレエ・シアター、スターダンサーズ・バレエ団、東京シティ・バレエ団、牧阿佐美バレエ団（五十音順）

#### (2) 次世代の観客育成に向けた調査

##### ・子どもたちのバレエ鑑賞体験による影響に関する調査

調査協力：昭和音楽大学バレエ研究所、株式会社電通パブリックリレーションズ

##### ・公演実施状況に関するデータ整備

調査協力：昭和音楽大学バレエ研究所

#### (3) コロナ禍におけるバレエ団運営スタッフ・ダンサーの育成

##### ・海外バレエ団の新型コロナウイルス対応状況に関するレポート発行

レポート発行対象：日本バレエ団連盟の会員団体の運営スタッフ

協力：昭和音楽大学バレエ研究所

##### ・バレエ団運営スタッフ向け ファンドレイジングセミナー

講師：杉本事務所 杉本宏氏

（舞台芸術を未来に繋ぐ基金 発起人／一般社団法人未来の会議 代表理事）

##### ・ダンサーのコンディショニングセミナー ～コロナ禍の怪我の事例を踏まえて～

企画協力：NPO 法人芸術家のくすり箱

講師：杉本亮子氏

（ボディコンディショナー LMA/BF、マットピラティスインストラクター）

#### ■ 調査会議委員

安達 悦子（東京シティ・バレエ団）

岩永 智博（東京バレエ団）

尾崎 瑠衣（昭和音楽大学バレエ研究所）

小山 久美（スターダンサーズ・バレエ団）

黒澤 希（牧阿佐美バレエ団）

小林 健太（小林紀子バレエ・シアター）

堤 悠輔（貞松・浜田バレエ団）

堀 美佳（昭和音楽大学バレエ研究所）

諸角佳津美（井上バレエ団）

山本 千絵（東京シティ・バレエ団）

廣瀬 智子（日本バレエ団連盟事務局）